

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 28日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 五條市二見5丁目1314

氏 名 奈良県吉野川浄化センター
所 長 鬼木 静哉

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0747-22-8631

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	奈良県流域下水道センター 吉野川浄化センター
事業場の所在地	奈良県五條市二見5丁目1314
計画期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	水道業
② 事業の規模	計画処理人口 38,470人
③ 従業員数	20人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	下水汚泥 → 最終処分業者に委託し、埋立処分

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

奈良県庁下水道マネジメント課
↓
奈良県流域下水道センター所長 (廃棄物処理統括責任者)
↓
奈良県流域下水道センター業務課長 (産業廃棄物管理担当課長)
↓
奈良県流域下水道センター吉野川浄化センター所長 (産業廃棄物管理責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 5 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	排出量	20648 t	— t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	排出量	21134 t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	18528 t	— t
(これまでに実施した取組)			
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	18964 t	— t
(今後実施する予定の取組)			
—			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	全処理委託量	2120 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	2120 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
—			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	全処理委託量	2169 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	2169 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			
※事務処理欄			